

## I. 授業の目標

「現代経営学演習」は専門職学位論文（修士論文）を執筆するための研究指導（演習）を中心とする授業です。演習では、皆さんが実際に研究することを、指導するというスタイルが基本になります。皆さんは何らかの研究テーマをもって、神戸大学へ進学されたと思いますが、その研究テーマを学術的な問題にまで落とし込み、それを分析することで入学時には想像しなかった境地に到達すること、少なくともそのような境地があることを理解することが最終的な目的になります。

そのための合言葉を今年度は、**Think Radically!** にしたいと思います。私たちは知らず知らずのうちに、既成の考えを受け入れてしまっ、その枠組みでしかものを見られなくなってしまっています。しかし、物事の本質は、本当そこにはないかもしれません。多くの人が見過ごしている本質を見抜くためには、常に根本から物事を考える必要があります、そのために **Think Radically!** を意識することが大切です。

ですから、MBA に来なくてもできるような研究をしても意味がありません。MBA は会社の業務ではないので、リスクをテイクする必要はありません。その分思い切り、思考の枠組みを広げてください。普通では考えないようなことまで思考を巡らしてください。そうすることで初めて見えてきたものを大切に、その概念を展開してください。そのためには、最初に結論（落としどころ）を考えないことが重要です。思考を深めないで見えてこないものを見るためには、最初に枠組みを決め過ぎないことが大切です。

また、大学院でのゼミは（学部も基本的にはそうですが）、研究室に所属することになります。國部ゼミに配属された方々は、國部研究室のメンバーとして研究して、成果を発表していくことになります。このことは、指導教授が皆さんの方を向いて指導するのではなく、指導教授と研究室のメンバーが同じ方向を向いて、社会の難問に挑戦するということを意味します。これは、國部研究室の「精神」ですので、肝に銘じてください。なお、國部研究室の詳細については、<http://www.b.kobe-u.ac.jp/~kokubu/>を参照してください。

## II. 演習スケジュール

▼9月21日（土）1,2限「研究とは何か？」（3,4,5限はM2のポスターセッションへ参加）  
初回のゼミは、研究とは何かについて考えます。神戸大学 MBA 編『人生を変える MBA』有斐閣の第19章「MBAで論文をいかに書くか」を読んできてください。國部がプレゼンをした後で、皆さんの研究テーマについてもディスカッションもしたいと思います。

▼10月26日 1-5限「研究テーマを考える」

研究テーマは、最初に絞りすぎない方がよいです。自分が研究したいテーマが、どのように企業や社会とかかわるのかを考えて、報告してください。研究テーマについて、できるだけ多くの情報を集めて、今何が問題になっていて、どのような課題があるのか考えていきましょう。そのような視点から、各人の研究テーマを位置づけてください。

#### <冬休みの課題>

今回は2回目と3回目の間が長いので、冬休み(2回目と3回目の間)の課題として、「古典」を読んで、レポートにまとめてください。一見、研究と関係ないようだけれども、奥の深いところで関係していそうな「古典」を探してみましょう。現在の問題も、その構造は過去の先人たちが分析してきたことと驚くほど似ていることがあります。その成果は2月と3月のゼミで報告してもらいます。

#### ▼2月1日 1-5限「リサーチプロポーザルの報告」

修士論文に向けて、リサーチプロポーザルを発表してもらいます。研究目的、先行研究のサーベイ、予定している研究方法、期待される成果などを報告してください。また、次回のゼミまでに何をするのかも示してください。

#### ▼3月7日 1-5限「リサーチプロポーザルの修正報告」

2月のゼミ報告でのコメントを受けてプロポーザルを修正し、3月中にプレ調査を実施するようにしてください。4月からは、プレ調査の結果をもとに本格的な研究に進んでいきましょう。

### III. その他

MBA 國部ゼミ生を中心に「神戸 CSR 研究会」を組織しています。すでに10年を超えました。これらのOBとの研究上の交流の機会をもつように運営します。また、受講生の希望があれば、企業関係者、外部講師の招聘や、企業訪問、セミナーの開催など、外部との関係も積極的に活用したいと思います。